



アジア・アパレルものづくりネットワーク

《 第 3 回 例 会 バングラデシュ 視 察 ツ ア ー ご 案 内 》

アジア・アパレルものづくりネットワーク 正会員 協力会員 各位殿

拝 啓

会員各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびアジア・アパレルものづくりネットワーク 設立総会にて承認されました事業計画の中でバングラデシュ視察ツアーについて、ご案内申し上げます。

チャイナ+1の担い手として、ベトナム、ラオス、インドネシア、ミャンマー、カンボジアなどアセアン地域が大きく注目されています。すでに進出されているか、今後、有力な進出先としても検討されていると思います。そうした中でも、バングラデシュへの日系企業の進出は未だ盛んにはなっていませんが、徐々に投資案件として妙味のある国として浮上ってきています。

アジア・アパレルものづくりネットワークとして

そのようなバングラデシュを今回は取り上げたいと思います。

バングラデシュは

土地面積は北海道の2倍ですが、1億6,000万人(世界人口第7位)が居住する超過密人口の国です。90%がイスラム教徒ですが、

国旗が日ノ丸の旗に似て、白地が緑になっているように、大変親日的な国です。

この国の主な産業は、ずばり縫製品です。輸出品に占める縫製品は実に87%に達しています。

中国に次ぐ縫製大国と言って良いでしょう。

その輸出の主力先は、欧米です。1972年、パキスタンからの独立後、苦難の道を経て欧米マーケットを開拓し、ニット、カットソー、シャツなどでは世界における一大生産拠点に大きく発展してきました。しかし、日本向けは2%にも満たない状況です。欧米の伸び率に限界がある中で、日本向けは大きな期待が注がれています。

大ロット、FOB取引、長い生産サイクルなど難点は幾つかありますが、1億6,000万人の人口は大変魅力的です。今後は日本からも投資、進出が大きく伸びる可能性があります。

ダッカでは、日本貿易振興機構(ジェトロ)ダッカ様のサポートもお願いしております。

今回のアジア・アパレルものづくりネットワーク視察ツアーで、バングラデシュに対する適切な実体験をされ、経営判断の参考にされることを期待するものです。

会員の皆様方のご参加を切に望みます。

なお、今回のツアーの手配を、VISA取得などに精通しているユニグローブスリーサンズトラベルに依頼しています。また、他空港発着のご希望もあるかと思いますが、ユニグローブスリーサンズトラベルにご相談をお願いします。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

ユニグローブスリーサンズトラベルの企画書、申込書などを添付致します。

今後とも、益々のご指導とご鞭撻賜りますようお願い致しますと同時に未筆ながら、会員各社の益々のご発展と会員各位のご活躍をお祈り申し上げバングラデシュ視察ツアーのご案内とさせていただきます。

敬 具

NPO アジア・アパレルものづくりネットワーク(内閣府認証申請中)

事務局長

和田 博

2011. 07. 20-003